

「認知行動療法の最前線 2013」開催に関するご挨拶

日本行動療法学会
理事長 杉山 雅彦

近年、認知行動療法への注目は、刻々と強くなっているように見えます。マスコミなどでも認知行動療法が多く取り上げられ、新聞では特集が組まれるようになってきています。ただし認知行動療法に関しては誤解も多く、本学会にも研修の場の提供を要請する声が強くなってまいりました。

行動療法学会では年次大会時に主として学会員に向けてワークショップを行い、教育研修の機会としてきました。このワークショップはほとんどが満席となり、希望があっても聴いていただけない人がでるといふ盛況ぶりであり、認知行動療法への関心の高さを示したものと考えています。しかしこのワークショップに関してもどれを選べば良いかが分からないという意見ももたらされており、体系的な研修機会の必要性が指摘されておりました。そういった声にお答えする形で、本学会では昨年一般の方に向けて認知行動療法セミナーを開催いたしました。その結果非常に盛況であり、毎年開催を要望される声が多く寄せられました。そこで、今回別紙のように認知行動療法セミナー「認知行動療法の最前線 2013」を企画いたしました。

日本行動療法学会は認知行動療法の啓発を一つの目的ともしており、有効性が確認されている認知行動療法の発展に関して積極的な役割を果たそうとしております。今回の「認知行動療法の最前線 2013」と題された研修会はその具体的な形と考えています。この研修会では認知療法学会理事長の大野裕先生をお迎えし、医療現場と教育の場に関して、文字通り認知行動療法の最前線を系統的に、学習、研修するに適した形で並べました。皆様の研修の機会としていただければ幸いです。

日本行動療法学会主催
認知行動療法セミナー

認知行動療法の最前線2013

開催日 2013年 1月27日(日)

会場 マイナビルーム (パレスサイドビル9F)
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
(東京メトロ東西線「竹橋」駅下車)

後援 朝日新聞社、(社)東京精神科病院協会、東京都、(公社)日本精神科病院協会、
(公社)日本精神神経科診療所協会、(財)日本臨床心理士資格認定協会 (50音順)

ワークショップ (いずれも 1コマ 3,000円)

<A会場> (定員180名)

- 9:30~11:30 「動機づけ面接:行動変化を促すコミュニケーション」
原井宏明(なごやメンタルクリニック)
- 12:30~14:30 「認知行動療法の基本技法」 鈴木伸一(早稲田大学)
- 14:45~16:45 「認知行動療法のポテンシャル」 熊野宏昭(早稲田大学)

<B会場> (定員80名)

- 9:30~11:30 「『思春期の困難』を認知行動療法で理解し対応するために」
神村栄一(新潟大学)
- 12:30~14:30 「発達障害を持つ子が学校でより輝くための支援」
大野裕史(兵庫教育大学)
- 14:45~16:45 「学級集団への認知行動療法アプローチ:特に粗暴傾向の改善にむけて」
嶋田洋徳(早稲田大学)

特別講演 (無料) 17:00~18:30

「認知行動療法の実際と課題」

大野 裕(国立精神・神経医療研究センター 日本認知療法学会理事長)

「学校に関する認知行動療法的理解と対応—生徒達からはどう見えているだろうか?」

杉山雅彦(あかつき心理相談研究所 日本行動療法学会理事長)

申し込み

日本行動療法学会ホームページ

<http://jabt.umin.ne.jp/>

ホームページより認知行動療法セミナー参加登録フォームからお申し込みください。
先着順にて定員になり次第締め切ります。

問合せ先: (株)毎日学術フォーラム日本行動療法学会係 [TEL:03-6267-4550](tel:03-6267-4550)

※臨床心理士資格更新ポイント対象セミナー